

## 混抄紙「Rems」システム始動

～製造過程から出る残渣を紙の原料として再利用、サステナブルな社会へ貢献～

大王製紙株式会社（住所：東京都千代田区）は、製造残渣<sup>※1</sup>を紙の原料として再利用し、資源を有効活用するシステム「Rems（リムス）」を新たに立ち上げました。

※1. 製造残渣<sup>ざんさ</sup>：もみ殻、コーヒー粕等、原材料から目的の成分を取り除いた後に残った部分



製造残渣の一例「もみ殻」



残渣を混抄した紙を活用した最終製品例

### ■「Rems」の特長

「Rems」は、【Re material system】の頭文字を冠した名称です。企業・団体さまの製品製造過程で出る残渣をご提供いただき、パルプに混ぜ合わせることで、新たな紙として再利用します<sup>※2</sup>。大王グループでは、これまでも資源の有効活用を目的に、紙の原料であるパルプにお客さまからご提供いただいた残渣を混ぜ合わせた混抄紙の生産を個別に行ってまいりました。現在、製造残渣を活用した混抄紙へのご相談を数多くいただいております。「Rems」というシステムを用いることで、よりタイムリーにご希望にお応えすることが可能となり、資源の有効活用を推進します。

※2. すべての残渣を紙の原料として混抄できるということではありません。

### ■「Rems」のシステム

混抄紙のご相談は Rems 特設ウェブサイトよりお受けいたします。ご検討内容をお知らせいただき次第、販売代理店より個別にご連絡させていただきます。完成した混抄紙はお客さまご指定の印刷会社様・紙器会社様等へ納入し、封筒や名刺、タグ、パッケージなど様々な製品へ印刷・加工のうえ、ご使用いただけます。また、Rems を使用した最終製品には「Rems 認証ラベル」を付与することが可能です。

### ■関連商品について

混抄紙のご相談のほか、関連商品として、もみ殻を使用した「Rems スタンダード-FS」の販売も開始いたします。

大王グループは、経営理念『世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ』の実現に向け、「衛生、人生、再生」の3つの「生きる」をビジョンに掲げ、事業活動を通じた社会課題解決に取り組んでいます。当社はこれまでも資源の有効活用として、古紙の利用促進や難処理古紙の活用に積極的に取り組んでまいりました。今回「Rems」ブランド始動により、新たな資源の有効活用を推進し、SDGs の目標「12. つくる責任、つかう責任」、に貢献するとともに、持続可能な循環型社会の形成に取り組んでまいります。

### 【本リリースに関する問い合わせ先】

大王製紙株式会社 出版用紙部ファインペーパー課 遠藤、細田、川崎 TEL：03-6866-9476

※報道機関の方は、下記までお問い合わせください

大王製紙株式会社 総務部広報課 北野、ウーデン TEL：03-6856-7501



# Rems

Re material system

製造<sup>ざんさ</sup>残渣を再利用し、  
資源を有効活用していく。

「Rems(リムス)」とは、

Re material systemの頭文字から取っており、  
企業様などから出る残渣<sup>\*1</sup>を紙の原料として  
再利用するシステムです。

紙は再生に適した素材である<sup>\*2</sup>ため、  
残渣を紙の原料に利用することで、  
残渣を再利用できるだけでなく、紙として循環され、  
サステナブルな社会に貢献できると考えます。

さまざまな残渣は、

Remsを通し、新たな紙へ。

あなたの元で、新たな未来へ。

